

平成28年度実施 第1回沖縄県青少年の家に係る指定管理者制度運用委員会
(モニタリング検証結果について)

- 1 日時 : 平成28年8月8日(月) 13:00~15:00
- 2 場所 : 県庁13階教育委員室
- 3 出席者 : 沖縄県立青少年の家指定管理者制度運用委員会委員5人
事務局一生涯学習振興課長、管理班長、社会教育班員、管理班員
- 4 検証事項 : 県立青少年の家6施設(名護、糸満、石川、玉城、宮古、石垣)の
平成27年度モニタリング検証結果の検討について
- 5 検証内容 :
 - (1) 指定管理者及び県が実施するモニタリングは適切に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦言に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
- 6 検証方法 : 事務局(生涯学習振興課)によるモニタリング報告の後、質疑応答を行いながら各項目について検証を進めた

■委員1

・指定管理料に修繕費や備品購入費が含まれているのであれば、改築した石川はそのお金が浮くことになる。その分の指定管理料の県への引き上げがあるのか。

□事務局

・指定管理料には修繕費や備品購入費も含まれている。石川について、指定管理料の県への引き上げはない。収支実績の報告から、指定管理料は各所適切に執行されていると考える。

■委員1

・玉城などの老朽化した施設は費用がかさむ。石川と玉城では指定管理料は金額的に同程度である。それでは指定管理者間の中で不公平が生じているのではないか。

□事務局

・指定管理料は、基本的に、各所ごとに過去数年の収支実績を基に算定する仕組みになっている。なので、各所に適した指定管理料が設定されている。収支実績からも不公平が生じているとは考えていない。

■委員2

・修繕や備品の購入については県が負担しているのか。

□事務局

・50万円以上の修繕については、県が負担することになっており、協定書にも記載されて

いる。また、備品についても消防備品など、安全面や施設の性質として必要性の高い物については、県で購入することもある。

■委員 2

・備品を指定管理者が購入した場合の取扱いについてはどうなるのか。

□事務局

・指定管理の更新がない場合は、指定管理者が購入した備品は、指定管理者で引き上げるかどうか県と協議できることになっている。

■委員 3

・各施設の火災保険について、指定管理者が出資している所と、していない所とあるが、どうなっているのか。

□事務局

・火災保険は、各所とも県で建物共済に加入している。その上で各指定管理者の任意により、県の加入する保険以上の厚遇を求める場合に指定管理者で自主加入をしている。

■委員 4

・アンケートの無回答や集計数の少なさが気になる。アンケートの取り方に問題があるのでは。

□事務局

・アンケートの取り方に問題があったかもしれない。アンケート記入時間があまり確保できなかった等の問題で無回答ということが考えられる。事業の実施直後に行うと時間が上手くとれないとの報告も受けている。記入時間の確保について周知徹底を行う。

■委員 3

・アンケートに関しては、本年度から様式を統一し行うこととなるので、今モニタリングで見られる回収率や無回答の問題も解決されるはずである。また、アンケートの取り方は国立に習って統一様式を代表者アンケート、主催・自主事業アンケートの2種類を作成している。代表者アンケートとしているのは、子どもが多い団体等の場合にアンケート結果に信頼度にかけることがあることが想定されるため、国立に習ってそのように定めた。

□事務局

・アンケートの集計結果報告のあり方や、モニタリングでのアンケート結果の落とし込み様式の統一など行っていかなくてはならない。

■委員 5

・施設宿泊研修等の利用にあたり、施設で事前調整を必ず行わなければならないのは困るということだが、今もそうなのか。他県の施設では、当日で調整を行っているところもある。施設利用者は学校関係だけではない。青少年団体については、昼間は直接施設へ行って調整することは難しい。

■委員 3

・引率者として現場の直接確認は大切。例えば、施設の指導員から施設の危険箇所を直接

見回りながら指導を受けるなどのことがあり、施設管理者、利用者双方にとって必要である。遠方については、何日か前に電話等だけのやりとりで、安全面は施設任せというのは問題では。前もって行くことが難しくとも、当日の2時間前に先乗りして打ち合わせを行うなどでもやったほうがいい。

□事務局

・複数団体が入る時など調整が必要になる。施設だけでは判断できない事項のすり合わせが必要になる場合もある。各施設のある程度の裁量で、事前打ち合わせのルールについて弾力性を持たせられる方向で調整したい。

■委員3

・石川と玉城で宿泊指導者研修を同じ日程でやっているのは、合同で計画するのもいいのでは。その他の事業についても各所で合同プログラムを組めたりはできないのか。また、教員の免許更新と抱き合わせで事業を行えたりはできないのか。国立施設では、実際にやっていたりする。

□事務局

・実現可能かどうか検討したい。

(名護に係る事項)

■委員4

・名護の赤字については、昨年度に引き続き赤字であるが。経費の中に特筆すべき点があるのか。赤字が続くと、サービスの質が低下するのでは。

□事務局

・事業計画では収支0である。実績と比較したときに、計画とのズレが大きく、収支を圧迫している大きな原因として、人件費と委託料があげられる。人件費は計画比で+137万4千円。主な要因としては宿直の増。委託料は計画比+50万7千円。主な要因は、委託管理区域の拡大と最低賃金引き上げに伴う人件費の増であると報告を受けている。これら2つに関しては概算で見通しのたつ費用だと考えており、計画段階での想定精度の甘さは否めないところであると考えている。また、名護に関しては、指定管理者も赤字経営の改善に取り組んでおり、本年度は利用者数の昨年度比+1%、宿泊者数増による収入増加を掲げている。県としても取り組みを支援したい方針である。

■委員4

・指定管理者の母体の経営状態はどうか。

□事務局

・名護の指定管理母体は、海洋博や首里城公園を指定管理している美ら島財団で、かなり大きな母体である。母体の心配はない。

■委員

・名護の備品購入実績が2年連続ないが、サービスの質が低下しているということはない

のか。また、名護の水光熱費の高さが気になる。

□事務局

・名護の備品購入実績はないが、県としては、昨年はスーパーストッカーなど厨房備品の購入・整備を行っており、サービスの質の低下は特に問題ないと判断している。水光熱費に関しては追って調査したい。

- 7 検証結果：モニタリング検証にあたり、沖縄県立青少年の家の指定管理運営状況について上記の評価を得た。指定管理社及び県が実施するモニタリングについて課題・検討事項を踏まえながら今後も適切に行いたい。

I. 履行確認

1. 維持管理業務

- (1) 清掃
- (2) 保守・点検
- (3) 保安・警備
- (4) 小規模修繕
- (5) 備品購入

2. 運營業務

- (1) 利用実績
 - 1) 利用者数
 - 2) 施設稼働率
- (2) 主催事業
- (3) 自主事業

II. サービスの質の評価

維持管理業務

運營業務

III. サービスの安定性評価

1. 事業収入

- (1) 収入
- (2) 支出

2. 経営分析指標

県立【名護】青少年の家 指定管理者 モニタリングシート

I. 履行確認

1. 維持管理業務

(1) 清掃

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
〈日常清掃〉	全職員にて館内清掃・植栽の維持管理を行う。	施設点検簿及び現地確認	適正	施設点検簿にて日々の施設清掃についてはチェックシステムがある。また、現地確認より適切に実施されていた。
〈定期清掃〉	本館のワックス掛け(年1回)、窓ガラス・サッシ拭き(月1回)、敷地内の樹木剪定(年1回)、貯水槽掃除(年1回)、チリ回収(週2回)、空調設備清掃(年1回)、毛布クリーニング(年1回)	実績報告書及び現地確認	適正	実績報告書及び現地確認により適切に実施されていた。

(2) 保守・点検

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
電気設備点検	月次点検(2カ月に1回)計6回 年次点検(年1回)計1回	請求書、領収書及び実施報告書により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
消防設備保守点検	年3回実施(9月、7月、1月)	請求書、領収書及び実施報告書により確認	適正	消防用設備等点検報告書により適切に処理されていた
簡易水道設備点検	月1回実施	請求書、領収書及び実施報告書により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
ボイラー設備保守点検	月1回実施	請求書、領収書及び実施報告書により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた
昇降機設備保守点検	定期点検 年4回 巡視 年1回 遠隔操作点検 年12回	請求書、領収書及び実施報告書により確認	適正	実施報告書等により、適切に処理されていた

(3) 保安・警備

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
保安警備	毎日 17:00~8:30 常駐1名 保安警備実施 年末年始、台風閉所時 8:30~17:30	警備日誌により確認	適正	今後も安全管理を徹底すること

(4) 小規模修繕

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
1件50万円未満の修繕を実施。	計16件(890千円) 圧力ゲージ、冷蔵庫、冷凍庫、草刈り機、中継ポンプ等	起案文書、領収書等より確認	適正	今後も所管課と連携しながら計画的な修繕に努めること

(5) 備品購入

事業計画	実施内容		整合性の検証	業務改善に向けた分析
	(事業報告書)	(現地確認)		
当初予算 200千円	計0件	該当なし		事業計画をふまえ、今後は計画的な備品購入に努めること

※維持管理業務については、必要に応じて項目を追加して記入して下さい。

2. 運營業務

(1) 利用実績

1) 利用者数

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
利用者数	利用者実数	18,879	18,831	100%	計画通りの実績となっている。
	利用者延べ数	35,185	34,003	97%	

2) 施設稼働率

		事業計画	実績	整合性の検証 (計画達成率 %)	業務改善に向けた分析
開所日数		312	341	109%	ほぼ計画通りの実績となっているが、社会教育関係の利用者数について追究していただきたい。
利用日数		312	301	96%	
利用率		100%	88%	88%	
利用延べ人数		35,185	34,003	97%	
	学校教育	23,469	22,133	94%	
	社会教育	5,456	3,230	59%	
	その他	6,243	8,640	138%	
施設別利用		18,140	16,831	93%	ほぼ計画通りの実績となっている。
	宿泊室	15,350	14,454	94%	
	研修室	607	532	88%	
	体育館 (プレイホール)	1,173	1,127	96%	
	キャンプ場	1,008	718	71%	
	その他	0	0	-	

(2) 主催事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検 証(計画達 成率 %)	業務改善に向 けた分析
スプリングキャンプ	5月2日～3日	親子 (小学生以上)	20	18	90%	ほぼ計画通りの実績となっている。
オープンデー ～名護岳登山・ハイキング～	9月25日	一般	50	43	86%	ほぼ計画通りの実績となっている。
食と身体づくり	10月4日	小学生以上	20	10	50%	広報や募集に工夫する必要がある。
やんばるの生態を学ぼう	10月17日	小学3年生以上	20	23	115%	計画を上回る実績である。
防災キャンプ	10月17日～18日	名護市消防クラブ	なし	29	—	ほぼ計画通りの実績となっている。
名護岳トレッキング教室	11月29日	小学生以上	30	17	57%	広報や募集に工夫する必要がある。
桜見健康ウォーク	1月31日	小学生以上	30	47	157%	計画を上回る実績である。
ナゴランを育てよう	1月31日	小学生以上	30	31	103%	計画通りの実績である。
キッズアドベンチャー	3月19日～21日	小学4年生～中学3年生	20	19	95%	計画通りの実績である。
やんばる青年の集い		青年団指導者	-	-	—	青年団へのアプローチを工夫する必要がある。

(3) 自主事業

事業名	実施期日	対象	事業計画 (定員)	実績 (参加人数)	整合性の検 証(計画達 成率 %)	業務改善に向 けた分析
名護青少年のyeah☆ア クティビティ王決定 戦!!	4月18日～5月6 日	一般	なし	445	—	計画通りの実 績である。
名護岳家族の日 I期	4月25日～26日	一般(3歳以上)	20	17	85%	ほぼ計画通り の実績となっ ている。
ノルディックウォーク 講座	5月17日	一般	20	14	70%	ほぼ計画通り の実績となっ ている。
ホテル観察会 I期	5月30日	小学生以上	30	29	97%	ほぼ計画通り の実績となっ ている。
ホテル観察会 II期	6月6日	小学生以上	30	30	100%	計画通りの実 績となっている。
ウミガメってどんな生 き物?	7月4日	一般	15	16	107%	計画通りの実 績である。
親子ふれあいキャンプ II	7月11日～12日	一般(3歳以上)	30	0	0%	台風の為中止
美ら島自然の学び舎	7月18日～20日	小学4年生～中 学3年生	10	10	100%	計画通りの実 績である。
夏休み宿題お助け隊	7月26日	小学生以上	40	21	53%	企画を含め検 討する必要が ある。
源河川で川の生き物を 観察しよう	8月22日～23日	小学生以上	20	9	45%	広報や募集に 工夫する必要 がある。

楽々ロングライド講座	9月12日	一般（高校生以上）	20	23	115%	計画を上回る実績である。
名護岳家族の日 II 期	9月19日～20日	一般（3歳以上）	30	40	133%	計画を上回る実績である。
オータムキャンプ	10月10日～11日	小学生以上	30	31	103%	計画通りの実績である。
ノルディックウォーク講座	10月25日	一般	20	24	120%	計画を上回る実績である。
クリスマスキャンプ	12月19日～20日	小学生以上	30	26	87%	ほぼ計画通りの実績となっている。
カーブヤーを作っ てあげよう	12月26日	一般	20	11	55%	広報や募集に工夫する必要がある。
第3回名護青少年の家 まつり	1月30日	一般	なし	200	—	計画通りの実績である。
冬の星空観察会	2月6日	小学生以上	30	21	70%	ほぼ計画通りの実績となっている。
ノルディックウォーク 講座	3月27日	一般	20	19	95%	ほぼ計画通りの実績となっている。

II. サービスの質の評価

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
維持管理業務	施設内の環境について（安全性、清潔性、空調等）	<ul style="list-style-type: none"> 適切な保守管理により設備の検査や点検が行われ、幸い大きな故障もなく利用者へ快適な研修環境を提供出来た。 受入時の清掃指導等により宿泊室や研修室の快適さが維持されている。 26年度末に宿泊室の空調の刷新より冬季に暖房が使用可能となり、冷え込む時期でも研修に支障をきたさない環境となった。 夏季の空調の早期時間帯での利用要望の声が多く、中には有料でも構わないから使用したいとの意見もある。現状としては体調不良等を除き、各部屋への扇風機の貸出で対応している。 	今後とも各種点検業務を行い、適切な指導の下利用者の安全性を高めて欲しい。
	職員の対応について（マナー、施設の利用方法の説明等）について	<ul style="list-style-type: none"> 事前打合せや受入時のプログラム、日程等の調整以外にも、当日の急な変更への対応についても多くの高評価を頂けた。 遠方の団体であっても事前打合せを行う事により施設の事を理解してもらい、より良い研修環境の提供を継続していく。 提出書類が多かったり、書きにくかったりするので説明する事も多いので、説明時の内容を所内で共有しより良い説明を行えるようにしていく。 	今後とも職員の研修を実施してより接客サービスの向上に努めること。利用者の立場にたち利用しやすい環境作りを構築すること。

運 営 業		<ul style="list-style-type: none"> ・場所が遠いので電話等のみで手続き出来るとよい。 ・書く書類が少し多い。 ・職員によって書類の説明内容が異なって困った。 ・有料でも良いので、ゴミを捨てられると良い。 		
運 営 業	<p>施設設備について(宿泊室、体育館・プレイホール、研修室等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトにまとまっていて使いやすい。 ・キレイにしている景色もよく、気持ちよく使用出来た。 ・ピアノが借りれて良かった。 ・清潔感があり、安全に過ごすことが出来ました。 ・食器や設備が整っていて良かった。 ・カマドと流し台が近いのでスムーズに進める事が出来た。 ・お風呂の水温調整がやりずらかった。 ・ピアノの調整をお願いします。 ・全部屋にイス・テーブルがあると良い。 ・トイレ等で配水管の匂いが気になる所があった。 ・お風呂場の水はけが良くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・売店の設置については賛否両論あり、管理側としてはこれ以上販売品目の拡大は衛生管理、在庫管理の都合上好ましくないと考えている。 ・施設設備に関して大きな苦情は無いが、経年劣化に伴う意見も引き続きあがっている。特に給排水など水回りに関する項目に多くみられるので、引き続き小規模な段階で迅速に修繕対応を行っていく。 	<p>今後とも各種点検業務を行う中で改善が求められる事については、県と連携をとり修繕計画をたてること。</p>

評価項目	第三者（利用者等）評価	指定管理者 自己評価	業務改善に向けた分析
	<p>〈アクティビティ王（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段出来ない遊びが出来た。 ・遊びを通して家族でコミュニケーションがとれました。 ・チームワークを学びました。 <p>〈名護岳家族の日（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイスブレイク等のゲームにより家族同士のコミュニケーションが楽しく出来た。 ・家族の絆を深めることが出来た。 ・夏鳥の音が聞いて良かった。 <p>〈スプリングキャンプ（主催）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テントを家族が協力し合って出来て感動した。 ・火おこし体験が楽しかった。 <p>〈ホテルウォッチングⅠ、Ⅱ（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講話で知識を得た後に実際に見ることが出来て良かった。 ・初めて自然のホテルを見ることが出来て貴重な体験になりました。 <p>〈ノルディックウォーキング講座（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段ノルディックで入らないコースで楽しかった。 ・アップダウンがあり、ちょうど良い距離だった。 <p>〈ウミガメってどんな生き物（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィールドワークがとても良かった。 ・調査の楽しみ方というのが新しい発見でした。 ・実際の産卵場所が見れて良かった。 <p>〈源河川で川の生き物を観察しよう（自主）〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明が分かりやすくて良かった ・専門家がいたことで実施の可否がきちんと判断出来ることが体験出来て良かった。 	<p>【事業総括】</p> <p>立地を活かし、名護青少年の家でしか出来ない内容の事業を多く展開した事で貴重な体験出来たという好意見を多く頂いた。特に当財団に所属している植物や生物の研究者を講師として招き、フィールドワークを交えながら、より詳細な解説を行う事業を実施する事が出来た。</p> <p>昨年の反省を活かし、一部事業は定員の見直し及び開催回数の再検討を行い、その結果、高い満足度を頂くだけでなく参加者がゆとりを感じられる事業を実施出来た。</p> <p>しかし事業のいくつかにて定員割れが発生している。特に冬季は寒さにより体調を崩し、直前や当日にキャンセルする方も多いため、適正な定員及び募集方法等に更なる検討・工夫の余地がある。</p>	<p>事業に関しては、随時、利用者アンケートなどにより改善が求められるものを精査し、これからも職員一丸となってより良い事業計画と運営に努めること。</p>

<p>運 営 業 務</p>	<p>主催事業、 自主事業に ついて</p>	<p>〈やんばるの生態を学ぼう（主催）〉 ・植物に詳しい講師から現地で植物を実際にゆっくりと観察出来て良かった。 ・固定種が知れて良かった。 ・参加者の年齢を限定した方がよい。</p> <p>〈美ら島自然の学び舎（自主）〉 ・今回のように親と別々の体験があればまた参加したい。 ・得難い体験で子供たちが羨ましいです。</p> <p>〈夏休み宿題お助け隊（自主）〉 ・火おこしを初めて体験出来て良い経験になりました。 ・自由な発想で子供たちが楽しく出来て良い時間を過ごせました。 ・モノ作りの楽しみが味わえました</p> <p>〈楽々ロングライド講座（自主）〉 ・レース向けの講座もお願いします。 ・内容を変えて定期的に行って欲しい。</p> <p>〈名護岳家族の日Ⅱ（自主）〉 ・友達が増えた。 ・ナイトウォークラリーやペットボトルロケットが楽しかった。</p> <p>〈オータムキャンプ（主催）〉 ・今後も是非続けて行って欲しい事業でした。 ・テントの張り方や料理の仕方などが学べた。</p> <p>〈オープンデー（主催）〉 ・登山しながら動植物の説明が聞けて良かった。 ・スポーツの秋という良い時期に登れて良かった。</p> <p>〈やんばるの生態を学ぼう（主催）〉 ・また違う季節に楽しみたい。 ・やんばるの植物に触れることが出来て良かった。</p>	
----------------------------	--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

〈食と身体づくり（主催）〉
・お腹いっぱいにもなり、勉強にもなりました。
・他の食べ物でも勉強したい
〈クリスマスキャンプ（自主）〉
・季節にあったクラフト作成が良かった。
・クリスマスに沿った料理内容で嬉しかった。

〈防災キャンプ（自主）〉
・今後も連携して体験メニューを増やしていきたい。

〈ノルディックウォーキング講座（自主）〉
・近くにトレーナーの人がいて教えてもらえてよかった。
・もっと距離を歩いてみたい

〈カーブヤーを作って揚げよう（自主）〉
・絵が生き生きしていて楽しい。
・もっと参加者がいたらよかった。

〈名護青少年の家まつり（自主）〉
・家族で楽しめる内容だった。
・毎年楽しみにしています。

〈なんぐすく桜見ウォーク（主催）〉
・天気も良く、ゆったりとしたペースでガイドもあり良かった。
・森林浴したみたいで良かった。

〈ナゴランを育てよう（主催）〉
・北農の生徒さん達の知識がすごかった。
・我が家でもナゴランを増やしたいと思った。

〈冬の星空観察会（自主）〉
・今回みたいな観察会があればまた参加したい。
・とても良い時間を過ごしました。

〈キッズアドベンチャー（主催）〉
・いろんな人と仲良くなれた。
・山登りはきつかったけど楽しかった

	〈ノルディックウォーク講座（自主）〉 ・基本をじっくり学ぶ事が出来た。		
総合評価	アンケート集計結果 アンケート回収枚数：348枚 内訳 とても良い：246（70.6%） 良い：94（27.0%） ふつう：7（2.0%） 悪い：1（0.2%）		全体的に適切な対応ができてい る。今後も目標設定を明らかにし、 利用者へのサービス向上に努める こと。

※評価項目については、施設の態様に応じて適宜設定して下さい。

Ⅲ. サービスの安定性評価

1. 事業収入

(1) 収入

(単位：千円)

収入項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
利用料金収入	計	4,474	4,052	91%	
	宿泊室	0	3,546	—	事業計画に数値無し
	キャンプ場	0	61	—	事業計画に数値無し
	研修室及び訓練室	0	112	—	事業計画に数値無し
	プレイホール	0	333	—	事業計画に数値無し
指定管理料		36,206	36,206	100%	
主催事業収入			63	—	事業計画に数値無し
自主事業収入		1,255	291	23%	
事業収入その他		871	696	80%	
その他収入（自販機電気料等）				—	
合計（A）		42,806	41,308	97%	
〈業務改善に向けた分析〉					
収入実績の合計は対計画比-1,560千円、前年比-600千円（うち指定管理料は-114千円）。自主事業収入の対計画比は今年度23%（実績291千円）、前年度18%（実績326千円）となっており、連続で計画値と実績値の乖離がみられ、実態に沿った事業計画の見直しが求められる。					

(2) 支出

(単位：千円)

支出項目		事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
人件費		23,458	24,832	106%	宿直増による人件費増
報償費		80	60	75%	
旅費		300	147	49%	
需用費		11,597	9,820	85%	
	消耗品費	1,000	480	48%	
	燃料費	250	249	100%	車輛保険代含む
	印刷製本費	200	0	0%	
	光熱水費	8,647	7,942	92%	
	修繕料	1,500	1,149	77%	
役務費		1,007	1,372	136%	
	通信運搬費	456	449	98%	
	手数料	0	0	—	
	損害賠償保険料	0	0	—	
	火災保険料	0	0	—	
	自動車保険料	13	13	100%	
	その他	538	910	169%	
委託料		4,671	5,178	111%	委託管理区域拡大、最低賃金引き上げに伴う人件費増
使用料及び賃借料		468	442	94%	
備品購入費		200	0	0%	
負担金		25	18	72%	
公課費		1,000	1,797	180%	
合計		42,806	43,666	102%	
〈業務改善に向けた分析〉					
支出実績の合計は対計画比102%（実績値+860千円）の執行となっている。施設の安全性や利用者の利便性は確保されていると思われる。					

2. 経営分析指標

評価指標	事業計画	実績	対計画比 (%)	備考
事業収支 (収入(A)-支出(B))(単位:千円)	0	-2,358	-	
利用料金比率 (利用料金収入/収入(A))	10%	9%	89%	
人件費比率 (人件費/支出(B))	55%	57%	104%	
人件費比率 (人件費/収入(A))	55%	60%	110%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/支出(B))	11%	12%	109%	
外部委託費比率 (外部委託費合計/収入(A))	11%	13%	115%	
利用者あたり管理コスト(※) (支出(B)/利用者数)(単位:円)	1,217	1,284	106%	
利用者あたり自治体負担コスト(※) (指定管理料/利用者数)(単位:円)	1,029	1,065	103%	
〈業務改善に向けた分析〉				
収支を圧迫している要因は、収入の面では利用料金の減(計画比-422千円,前年比-222千円)、支出の面では人件費の増(計画比+1,374千円)及び委託料の増(計画比+507千円)が大きき要因であると考えられる。それらが改善できるよう指導する。				

※経営分析指標の評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
事業収支	収入-支出	事業収支がマイナスの場合、継続性の面で課題となるため、県、指定管理者で協力して黒字化のための方策を協議する必要がある。
利用料金比率	利用料金収入/収入	指定管理者の主な収入源がどこにあり、それが安定したものであるのかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	支出の中で人件費が減らされすぎていないか、それにより効率が低下していないかを確認する。
人件費比率	人件費/支出	収入の中に占める人件費がどの程度かを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/支出	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
外部委託費比率	外部委託費合計/収入	外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。
利用者あたり管理コスト	支出/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけのコストが費やされているか。コストが少なくても利用者が少ない、あるいは利用者は多いがコストがかかっているなど、前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。
利用者あたり自治体負担コスト	指定管理料/利用者数	1人あたりの利用者に対してどれだけの県による財政負担がなされているか。前年度との比較、類似施設との比較により、当該施設の効率性を確認する。